

井上綾乃ゼミ通信③

令和4年11月7日(月) 保育センター発行

9/30(金)に開催された第3回井上綾乃ゼミでは「思考の柔軟性」「行動療法 子どもの行動を正しく注目する」についての研修でした。
今回も体験を通してわかりやすく学ぶことができました。

思考の柔軟

「絶対に〇〇じゃないといけない!」「0か100か」など、思考が固い子は、認知のゆがみが強すぎることで自信の喪失や自己肯定感の低下につながってしまうことがあります。大人が柔軟い思考で対応し、支援していきましょう。

体験①
思考の固い子の
気持ちを体験!

苦手をサポートできる

エンパワメント

ex)絶対に倒したい!という思考の子には、必ず球が命中する方法を工夫する。



ひっばって
離すだけで当たる
ゴム付きボール!

思考が固い子
なりたくなっている
わけではない!



突然の変更を伝えられた時の子どもの気持ちは、それ以外の方法が見つからなくて固まった時のあなたの気持ちと同じです!

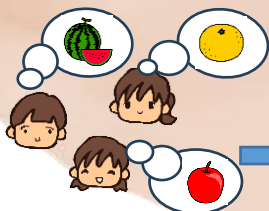
対処法

普段から落ち着けるカームダウンスペースや、その子の好きな感触の安心グッズを提供。
声の掛けすぎは刺激になってしまう事も。
静かに待つ対応も大事。

体験②

相手の話を聞き、心をのぞく。
相手の事を考える体験!

ex)1人1つ、何かを思い浮かべ、思い浮かべたもののヒントを出す。
他の人が何を思い浮かべているのかを想像し、ヒントを加えていく。



「緑と黒のしま模様の
丸くて大きい果物だよ。」

「A君のは
分かりやすいね」

「A君のやつは、
中身が赤いよね?」

最終的に誰か1人の想像しているものに絞り「せーの」で皆の答えが揃ったらOK!

あそびや言葉かけ

未然防止法

体験③

みんなと同じじゃないとイヤ!という子には...
「ひとりだけ、もいいかも!」の体験!

体験④

思考を柔軟にする
きっかけの言葉を
考えよう!

ex)白いものといえば?など
お題に合うものを1人1つ
思い浮かべる。
1人しかいない意見を出した人に拍手!!

言葉のおまじない

「まっ、いっか!」
「そういう時もあるさ」
「涙の数だけ強くなれるよ」
など...

行動療法・子どもの行動を正しく注目する

きっかけ

ex)おもちゃをとられた

行動

かみつく

結果

手に入る

アセスメント

「かして」と言えなかったら

支援

要求スキルの獲得

問題行動の原因	注目	要求	逃避	感覚
	私(だけ)を見て!	～したい ～してほしい	やりたくない ここにいたくない	感覚が足りない 感覚過敏
支援方法	ペアレント トレーニング	スキルの 獲得	安心安全を保障	感覚の提供 感覚を取り除く

注目行動への対応は...

望ましい行動には注目し、望ましくない行動には注目せずに望ましい行動への指示出しをする。
→望ましい行動が出始めたら褒める。

注目行動については11/7(月)13:30~15:00の第4回井上綾乃保育ゼミでご講義いただきます。それでは、次回も一緒に学びましょう。 担当:市田